

みなかみ町アンサンブルコンサート

～ 群響メンバーによる弦楽器の響き in みなかみ ～

【日時】 令和7年（2025）6月1日（日） 午後3時 開演

【会場】 みなかみ町カルチャーセンター

プログラム

フチーク / 剣士の入場

エルガー / 愛の挨拶

クライスラー / 愛の悲しみ

クライスラー / 愛の喜び

ドヴォルジャーク / 弦楽四重奏曲 第12番

「アメリカ」 第1楽章

<休憩>

ロウ / 踊りあかそう

ロドリゲス / ラ・クンパルシータ

ガルデル / ポル・ウナ・カベサ

ピアソラ / リベルタンゴ

坂本龍一 / アクア

坂本龍一 / 《戦場のメリー・クリスマス》から

メリー・クリスマス、Mr. ローレンス

中村八大 / 上を向いて歩こう

いずみたく / 見上げてごらん夜の星を

J. シュトラウス2世 / 美しき青きドナウ

— 出演者紹介 —



西谷 康子（にしに やすこ／ヴァイオリン）

桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学音楽学部を卒業。在学中より演奏活動を始め、学内選抜オーケストラのメンバーとして、カーネギーホール百周年記念コンサート、エヴィアン国際音楽祭等に出演。大学卒業と同時に群馬交響楽団に入団。楽団の派遣により、第6回アフィニス夏期セミナーに参加。現在、同楽団ヴァイオリン奏者を務める傍ら、ソロ、室内楽等の幅広い分野で活躍している。



山田 修平（やまだ しゅうへい／ヴァイオリン）

国立音楽大学付属高等学校を経て同大学器楽科を卒業。大学在学中より多くの邦人作品の初演に携わる。現在、群馬交響楽団ヴァイオリン奏者を務める傍ら、ソロ、室内楽の分野で幅広く活躍。また、オーケストラ協議会議長として国内におけるオーケストラ界の発展に努めている。



太田 玲奈（おおた れな／ヴィオラ）

長野県上田市出身。3歳よりヴァイオリンをはじめる。新潟大学教育人間科学部芸術環境創造課程音楽表現コース卒業。大学卒業後ヴィオラに転向し、2011年桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。2011年～2014年まで兵庫芸術文化センター管弦楽団に在籍。2015年より群馬交響楽団団員。これまでヴァイオリンを吉川朝子、ヴィオラを百武由紀の各氏に師事。



松本 恒瑛（まつもと つねあき／チェロ）

東京音楽大学卒業、及び同大学院修士課程修了。ドイツ、ベルギーの音楽祭にソロ出演。サントリーホール・デビューコンサートに出演。東京都高等学校文化連盟文化功労章受章。日本クラシック音楽コンクール3位（最高位）。横浜国際音楽コンクール室内楽部門入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員を経て、現在は群馬交響楽団チェロ奏者。チェロを佐藤満、松波恵子、堀了介、植木昭雄、室内楽を浦川宜也の各氏に師事。

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立。1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2023年度までに延べ650万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け、4カ国を巡る海外公演を実現。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

また、2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎える。